

(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3									16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を社内にて周知徹底している。 ・問題に対し相談できる環境を整えている。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8												16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。											8.5 8.8												
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	労働環境の整備を行っている。				4.4							8.7 8.8			10.2 10.3									
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員への一日の業務内容の周知。作業における熟知(説明)の徹底を行う。								3			8												
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・普段から社員への声掛けを行い、現状把握に努めている。								3															
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員ひとりひとりの個性に目を向け、円滑に職務が遂行できるよう環境を整える。					5.1 5.5						8.5			10.2 10.3									
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している。				4	5.5						8		9										
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う。					5.5						8.5			10.2 10.3									
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・体調チェックシートを利用した、部署責任者による社員の体調や健康の把握。また、声掛けによる現状の把握に務める。				3							8												
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握。														11.6	12.4			14.1					
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・自社のエネルギー使用量を把握している。 ・【予定】温室効果ガス排出量を把握し、削減に努めていく。											7.3							13					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・工場ボイラーの熱源を都市ガスにしている。											7.2 7.3							12.4	13.3				
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・適切な処置を講じている。				3.9			6.3								11.6	12.4							
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・自社にて使用しているガソリン車等を順次、電気自動車等に変えていくよう策定している。							6.6															15	
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・段ボールのリサイクル回収や古缶の再利用などを行っている。																					12.5	14.1	
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の水源を含む水の利用状況を把握し、使用量削減や効率化に努めている。							6.4 6.6																



	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話から事業における地域への影響を把握し改善に努めている ・地域からの雇用を率先している。また雇用を増やしていく。				4									9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の交通安全運動に参加している。 ・フードバンクへの寄付。				4												11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外産）している	チャレンジ	・地域の原材料を優先的に使用している。（長野県産りんご） ・長野県特産品を活かした商材の開発等を行う。													8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。														8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・夕礼会を設け、その中で法令順守(コンプライアンス)の重要性を含め、様々な事柄を発信、吸収の場として設けている。																								16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(担当役員)、CSR管理者を任命している																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適宜対話に努めている。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を策定している。																								16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・工場稼働の効率化を進めている。																								16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・緊急時の連絡網を構築している。																9		11			13 13.1			16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる ・【予定】サクセッションプランを策定するようにする。															8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）